

1.4 現在の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか。

ID	自由記述内容	学会	年齢	性別
5	DC1について、修士論文を書いたこともない人の研究計画に大金を支給するのは問題だと思う。	日本哲学会	29	男
8	業績の質ではなく、数が評価の対象となっている感がある	日本哲学会	30	男
14	特別研究員の採用期間が短い	日本哲学会	32	男
18	学術の振興につながっているのか結局のところよくわからない	日本哲学会	32	男
21	書類のフォーマットが理系向きで書きにくい	日本哲学会	33	男
27	よく分かりません。	日本哲学会	35	男
32	PD一人当たりの額が高すぎる。額を減らして採用数を増やすべき。	日本哲学会	36	男
33	長期的視野に立った「支援」になっていない	日本哲学会	36	男
39	年齢制限がある	日本哲学会	38	男
41	「公募→申請→採用不採用」式の競争的資金は結局運次第で安定性がないので、このタイプの研究支援の存在自体が問題だと思います。	日本哲学会	38	男
42	DC/PD取得者の中間評価が甘く、研究の継続がみられなくても支給されている	日本哲学会	38	男
55	年齢に対する制限の問題	日本哲学会	43	男
59	大学によりますが、私大では、研究支援も学振から受けること自体に拒否反応を示すところがある。研究するぐらいなら、もっと仕事なさい、という状況。	日本哲学会	43	男
75	よく知りません	日本哲学会	51	男
77	審査体制の不備	日本哲学会	52	女